

平成23年1月7日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・  
・  
☆  
・  
・  
農業担い手メールマガジン（第150号）  
・  
・  
＜読者アンケート特別号＞  
・  
◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・

—インデックス—

○ 現場の皆さんへ ～農業担い手メールマガジンのアンケートにご協力を～

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆～農業担い手メールマガジンのアンケートにご協力を～

明けましておめでとうございます。皆様は、新たな年を迎えいかがお過ごしでしょうか。本年も引き続き農業担い手メールマガジンを愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本年初となる農業担い手メールマガジンは、現場の皆様の支えもあり、いよいよ150号を迎えることになりました。皆様には心より感謝申し上げます。

そこで、この150号を境とし、更に皆様にとって有効な情報ツールとなるため、本メールマガジンに関するアンケートを実施させていただきます。ご協力よろしくお願い申し上げます。

＜アンケートの趣旨＞

これまで、農業担い手メールマガジンは、現場の多くの農業者や農業関係者の皆様とのコミュニケーションを図るためのツールとして活用いただけるよう、取り組んできました。

特に冒頭の「現場のみなさんへ」では、現場からの率直な意見等を引き出すべく、様々な話題を提供してきたところです。現場からの意見をお寄せいただいた方々におかれましては本当にありがとうございました。

しかし、これまで提供してきた話題は、必ずしも皆さまの関心事項とはマッチしていないことなどもあって、意見等を提案するに至らなかった方も多いものと察します。

このことから、皆さまの興味・関心が高い話題についてより多く情報収集を行わせていただき、メールマガジンの中に生かしていくことで、これまで以上に皆様とのコミュニケーションツールとして、ステップアップしたいと考えています。そこで本号では、そのステップアップの重要な情報源として、日頃、皆様が農業担い手メールマガジンに対して抱かれている印象、意見などをお伺いしたく、アンケートを実施することにしました。

誠に勝手ではありますが、皆様には上記の趣旨をご理解いただきましてアンケートにご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、農業への関与の状況や立場によって興味・関心が高い話題は異なるものと思いますので、できる限りご愛読者の皆様全員のご回答・ご協力をお願い致します。

<アンケートの実施期間について>

本号の発行日である1月7日～1月21日の2週間といたします。

<結果の公表について>

アンケートの集計結果については、取りまとめ次第、本メールマガジンにてお知らせしたく考えています。

<自由記入に寄せられた課題や問題点の扱いについて>

自由記入欄に寄せられた課題や問題点については、省内の関係部署にご意見として提供し情報共有しますが、個々には回答はしませんのでご了承の程お願いします。

回答をお求めになりたいご意見・ご質問は、末尾に記載した農業担い手メールマガジンの問い合わせ窓口をご利用下さい。

<アンケートの回答方法と内容>

アンケートは農林水産省のHP上でお答えいただくことになります

アドレスはこちらです →

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/l2d7.html>

アンケートの内容は以下の通りとなります。

問1. 農業担い手メールマガジンはあなたにとって参考になってますか。

(1つを選択)

(1. 参考になる          2. 参考にならない)

問2. 農業担い手メールマガジンに掲載されている記事はあなたにとって分かりやすいですか。(1つを選択)

(1. 分かりやすい          2. 分かりにくい)

問3. この一年間の記事のうちトピックス「現場の皆さんへ」の中で、特に印象に残っている記事を教えてください。(自由記入)

(参考)末尾にこの一年間のメルマガのトピックスについて掲載しております。

バックナンバーHP →

[http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n\\_mailmaga/index.html](http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html)

問4. 問い合わせ窓口をご利用されたことがある方にお尋ねします。

(1) お問い合わせに対する回答の早さはどうか。(1つを選択)

(1. 早い                  2. 遅い)

(2) 回答内容は参考になりましたか。(1つを選択)

(1. 参考になった          2. 参考にならなかった)

問5. 今後の題材を考える上で参考にさせていただきたいと思いますので今後取り上げてもらいたいテーマを3つまでお選びください。

(1. 経営管理   2. 経営者能力の向上   3. 集落営農等に向けた組織化)

4. 法人化 5. 6次産業化 6. 収益性の向上 7. 資金・金融  
8. コストの削減 9. 労働力の確保 10. 後継者の確保 11. 農地の集積

12. 技術力の強化 13. 新たな施策の紹介 14. 優良事例紹介 15. その他)

問6. 最近の農業経営に関わる課題や問題点、農政に対するご意見があればご記入下さい(皆様が関心のある事項について詳しく教えていただけると幸いです)。(自由記入)

※以降の問いについては、よろしければお答えください。

問7. あなたの年齢はおいくつですか。(1つを選択)

(1. ~39歳 2. 40歳~64歳 3. 65歳~)

問8. あなたのお住まいの都道府県はどちらですか。(47都道府県より選択)

問9. あなたのご職業はなんですか。(当てはまるものすべてを選択)

(1. 農業(兼業的農業従事者や雇用就農者を含む)  
2. 農林水産関係団体職員 3. 会社員  
4. 農業以外の自営業 5. 公務員 6. その他の職種  
7. 主婦 8. 学生 9. 無職・定年退職)

問10. 前問で1. 農業とお答えいただいた方にご質問します。

(1) あなたの農業への主な従事状況は次のどれに当てはまりますか。

(1つを選択)

(1. 専業 2. 兼業 3. 集落営農 4. 組織法人経営  
5. 雇用就農者 6. 農業研修生 7. その他)

(2) あなたは認定農業者ですか。(1つを選択)

(1. はい 2. いいえ)

(3) あなたの経営において最も販売額の大きな作目は何ですか。

(1つを選択)

(1. 稲作 2. 麦 3. 豆・いも・雑穀 4. 露地野菜 5. 施設野菜  
6. 果樹 7. 花き・花木 8. その他耕種農業 9. きのこと類  
10. 酪農 11. 肉用牛 12. 養豚 13. 養鶏 14. その他畜産)

ご質問は以上です。

■ アンケート回答用HPのアドレスはこちらです

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/12d7.html>

■ ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/eaba.html>

<参考>今年一年のメルマガのトピックス一覧

平成22年度

第149号（平成22年12月20日発行）

- ・現場の皆さんへ ～比べて経営診断～

第148号（平成22年12月2日発行）

- ・現場の皆さんへ ～従業員のやる気を引き出すには？～

第147号（平成22年11月19日発行）

- ・現場の皆さんへ ～儲かる農業を考える～

第146号（平成22年11月9日発行）

- ・現場の皆さんへ ～地域に根ざした農業経営～

第145号（平成22年10月25日発行）

- ・現場の皆さんへ ～地域に活力を生む農業の6次産業化～

第144号（平成22年9月30日発行）

- ・現場の皆さんへ ～全国農業経営支援社労士ネット発足！～

第143号（平成22年9月14日発行）

- ・現場の皆さんへ ～家族以外の者への経営継承～

第142号（平成22年8月31日発行）

- ・現場の皆さんへ ～経営政策課長より新任のご挨拶～

第141号（平成22年8月17日発行）

- ・現場の皆さんへ ～経営局長より新任のご挨拶～

第140号（平成22年7月21日発行）

- ・現場の皆さんへ ～地域農業と企業との連携～

第139号（平成22年7月2日発行）

- ・現場の皆さんへ ～集落営農の活動実態と今後の取組意向～

第138号（平成22年6月18日発行）

- ・現場の皆さんへ ～食料・農業・農村白書を読もう～

第137号（平成22年5月31日発行）

- ・現場の皆さんへ ～直売所を経営に活かそう～

第136号（平成22年5月18日発行）

- ・現場の皆さんへ ～農業経営の発展のための展望モデル～

第135号（平成22年4月28日発行）

- ・現場の皆さんへ ～新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定～

第134号（平成22年4月1日発行）

- ・現場の皆さんへ ～戸別所得補償モデル対策の加入受付スタート～

平成21年度

第133号（平成22年3月31日発行）

- ・現場の皆さんへ ～確定申告のデータを使って簡易経営分析を！～

第132号（平成22年3月3日発行）

- ・現場の皆さんへ ～新規参入者を迎える地域の心構え～

第131号（平成22年2月5日発行）

- ・現場の皆さんへ ～集落営農から地域再生へ～

第130号（平成22年1月18日発行）

- ・現場の皆さんへ ～食料自給率向上のための戸別所得補償制度～



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日 ：毎月2回発行

○ 発行元 ：農林水産省経営局経営政策課 担当：橋本、表谷

☆ 農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ [http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n\\_mailmaga/index.html](http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html)

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

